

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2004年4月1日 ～ 2025年12月31日の間に、副甲状腺機能低下症もしくは偽性副甲状腺機能低下症のために虎の門病院内分泌代謝科に入院・通院された方

### 【研究課題名】

副甲状腺機能低下症と偽性副甲状腺機能低下症の患者における臨床的特徴の比較検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

本研究では、虎の門病院において副甲状腺機能低下症もしくは偽性副甲状腺機能低下症の治療を受けている患者さんの腎および骨に関連する臨床検査データやイベントの情報を後方視的に収集して解析することで、それぞれの疾患における臨床的特徴を比較検討しつつ明らかにすることに加えて、腎や骨に関する臨床的問題とそれらに関連する指標を見出すことを目的とします。さらに、両疾患の臨床的アウトカムの改善に資する治療方略を探索的に検討します。

#### 《研究に至る背景》

両疾患は併せても人口10万人に30人程度の希少な疾患です。いずれも低Ca血症の改善が主な治療目標であり、活性型ビタミンD製剤による対症療法が主流です。海外の観察研究では、副甲状腺機能低下症患者では治療経過に伴う腎機能低下や骨折リスクの上昇が懸念されています。一方で、偽性副甲状腺機能低下症におけるこれらの臨床的問題の検討は乏しく、わが国ではいずれの疾患でも長期治療経過中の臨床情報の統合的解析が不十分です。

### 【研究期間】

2026年2月20日 ～ 2027年3月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 当院および富山大学第一内科 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、富山大学第一内科の研究責任者に紙媒体で直接に提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、超音波および骨密度検査結果報告書、薬歴

【メディカルアドバイザー】

虎の門病院分院 ・ 分院長 竹内靖博

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科（内分泌） ・ 竹下章

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

富山大学 ・ 学術研究部教育推進系 ・ 西村歩

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科（内分泌） ・ 竹下 章

電話 03-3588-1111(代表)